

あなたとの絆



春日井

平成30年4月1日



人と地域がつなぐ
暮らしやすさ



健康がつなぐ幸せ



子どもと学びが
つなぐ未来

2018年 No.1632
Kasugai Public Relations

特集

第六次春日井市総合計画に基づく
まちづくりがスタート
誰もが暮らしやすく、幸せを感じるまちへ

第六次春日井市総合計画に 基づくまちづくりがスタート

誰もが暮らしやすく、幸せを感じるまちへ

問い合わせ 企画政策課 (☎85-6031)

市の新たなまちづくりの指針となる「第六次総合計画」。市民ワークショップやアンケート調査、グループインタビューなどで多くの市民の皆さんの思いを取り入れたこの計画は、今後、市がどんなまちを目指し、どのような政策に取り組んでいくのかを定めています。今回の特集は、第六次総合計画の概要とそれに基づく平成30年度の主な事業と予算を紹介します。

市の将来像

暮らしやすさと幸せをつなぐまち かすがい

私たちは、充実した交通網、豊かな自然などの恵まれた環境を生かし、先人が築き上げた「暮らしやすさ」という魅力を次世代に引き継いでいかなければなりません。そして、「暮らしやすさ」の先にある「幸せ」を多くの市民が実感できるまちにしていくことも大切です。いろいろなかたちの「幸せ」が増えることで、一人ひとりの暮らしは彩られ、まちはカラフルとなり、さらなるまちの魅力につながります。「暮らしやすさ」と「幸せ」を人から人へ、家族から地域へ、今から未来へつないでいくことを目指します。

重点方針

1 人と地域がつながり暮らしやすさ

地域での助け合いは生活を支え、いざという時、大きな力になります。身近なつながりを大切にするとともに、新たなつながりを築くことができるまちづくりを進めます。

2 健康がつながり幸せ

健康は幸せの原点です。今後も高齢化が進むなかで、生涯にわたって心身の健康を確保し、生きがいを持って暮らすことができるまちづくりを進めます。

3 子どもと学びがつながり未来

未来を担う子どもを社会全体で健やかに育むほか、子どもとともに学び、子どもから信頼される地域社会を築き、子育て世代にとって魅力のあるまちづくりを進めます。

計画の構成と期間



基本目標

1

安全・安心なまち

生活と健康を守り、生涯にわたって幸せに暮らすことができるまちを実現します。



政策分野 ① 防災・生活安全

- 防災・減災対策の充実
- 防犯力の向上
- 交通安全対策の強化

拡充 民間建築物耐震事業 7828万4000円

木造住宅の解体・運搬・処分に係る除却工事や要緊急安全確認大規模建築物の耐震改修工事の費用を新たに助成します。

雨水調整池整備 5億8110万円

勝川駅南公園に調整池の整備を進めるとともに、熊野桜佐土地区画整理事業地内で新たな調整池の整備に着手します。

橋りょう耐震補強 6000万円

市民の利便性や安全性の向上のため、大規模地震による落橋防止のための耐震補強工事を実施します。



政策分野 ② 健康・福祉

- 健康づくりの推進と地域医療の確保
- 高齢者福祉の充実
- 障がい者福祉の充実
- 地域での支え合いの推進

拡充 健康診査等 6億6287万6000円

健康診査や各種検診を行う他、新たにピロリ菌感染の有無などを調べる胃がんリスク検診を実施します。

拡充 地域包括支援センター運営委託 3億6844万4000円

在宅医療と介護の連携、認知症の総合的な支援などを効果的に推進するため、新たに基幹型地域包括支援センターを設置するとともに、担当地区を再編し、地域包括支援センターの機能向上や体制の強化を図ります。

拡充 精神障がい者医療費 2億1025万7000円

全疾病を対象に入院・通院ともに全額助成します。

拡充 感染症予防 9億3844万3000円

定期予防接種の他、新たに1～6歳の未就学児を対象に、おたふくかぜワクチン接種費用の一部を助成します。



その他… 在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業の拡充など

基本目標

2

子どもの笑顔があふれるまち



安心して子どもを産み、育てることができ、やさしさとたくましさを持った子どもを育み、夢や誇りを持つことができるまちを実現します。



政策分野 ③ 子育て・教育

- 子育て子育て支援の充実
- 良好な教育環境の整備

拡充 子どもの学習支援事業
828万1000円

生活保護受給世帯などの子どもに対する学習支援や居場所の提供、保護者に対する生活相談などを3か所で実施します。

拡充 外国語指導助手(ALT)
5504万9000円

小学校での外国語の教科化に向けて、小学校5・6年生の外国語活動の時間を増加するとともに、小学校3・4年生の外国語活動を開始し、英語力のさらなる向上を図ります。英語授業時間の増加に合わせて、ALTの配置時間数を増加します。

拡充 夏季臨時子どもの家
85万2000円

保護者の就労などによって留守となる家庭の小学生を対象とした夏季臨時子どもの家を2か所に増設します。

拡充 ICT教育推進
3100万円

タブレット機器など5400台(平成30年度は770台)を導入し、市内全ての小中学校におけるICT教育環境を整備します。

その他… 土曜チャレンジ・アップ教室の拡充、私立保育園等運営、各種保育サービスなど

基本目標

3

思いやりと生きがいが育つまち



思いやりが人と人をつなぎ、一人ひとりが輝くまちを実現します。



政策分野 ④

市民活動・共生・文化・スポーツ

- 地域コミュニティの活性化と市民参加の促進
- ダイバーシティ(多様性)の推進
- 文化・スポーツ・生涯学習の推進

新規 市制75周年記念事業
856万1000円

1年間を通して、歴史を振り返り、未来につながる記念事業を実施します。

東部市民センター改修
1億8150万円

図書室等の跡施設について、新たに音楽や軽運動、多目的に利用できる部屋を整備します。

朝宮公園整備 2億5645万5000円

スポーツや健康づくりの機能を充実するため、多目的総合運動広場などを整備します。今年度はその一環として、設計や既存プールの解体を実施します。



基本目標

4

活力とやすらぎのあるまち

「春日井」の魅力を明日へつなぎ、みんなで未来を創るまちを実現します。



政策分野 ⑤ 都市基盤・産業

- 都市基盤整備の推進と公共交通の整備
- 産業の振興と安心して働ける環境づくりの推進

新規 高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業 1042万2000円

産学官が連携し、ニュータウンを拠点に総合的な交通ネットワークの構築や多様な交通手段の確保を目指し、自動運転の早期実現化に向けた実証実験の推進や適切な交通分担の検討を行います。



新規 高蔵寺まなびと交流センター 1億6253万8000円

旧藤山台東小学校を活用した多世代交流拠点として整備した「グルッポふじとう(高蔵寺まなびと交流センター)」を平成30年4月に開所し、高蔵寺まちづくり(株)や地域住民との協働による施設運営を行います。

新規 プレミアム付商品券・建設券発行事業 1億160万円

市制75周年を記念して発行するプレミアム付商品券・建設券に対して助成します。

その他… JR春日井駅周辺整備、大泉寺地区企業用地整備事業、ふれあい農業公園整備など



政策分野 ⑥ 環境

- 地球環境の保全と自然との共生
- ごみ減量とまちの美化の推進

拡充 空き家対策 799万2000円

空き家セミナーの開催や専門家との相談窓口の設置の他、空き家解体の助成件数を拡充します。



総合計画の実現に向けて

総合計画を実現するためには、市が春日井の未来に責任を持ち、効果的かつ効率的な行政運営を進める他、都市経営の中核となり、多様な主体を活用することが必要です。市は、市民や事業者の皆さんなどと協力して、地域資源を最大限に活用し、総合的かつ戦略的な事業展開を図ります。

詳しくは市ホームページや公共施設で見てください

第六次総合計画は、市ホームページや市役所情報コーナー、各公民館、各ふれあいセンター、図書館などで見ることができます。

平成30年度 当初予算

問い合わせ 財政課 (☎ 85-6607)

※金額などについては、表示単位未満を端数調整しています。

一般会計 992.8億円(前年度から26.8億円増)

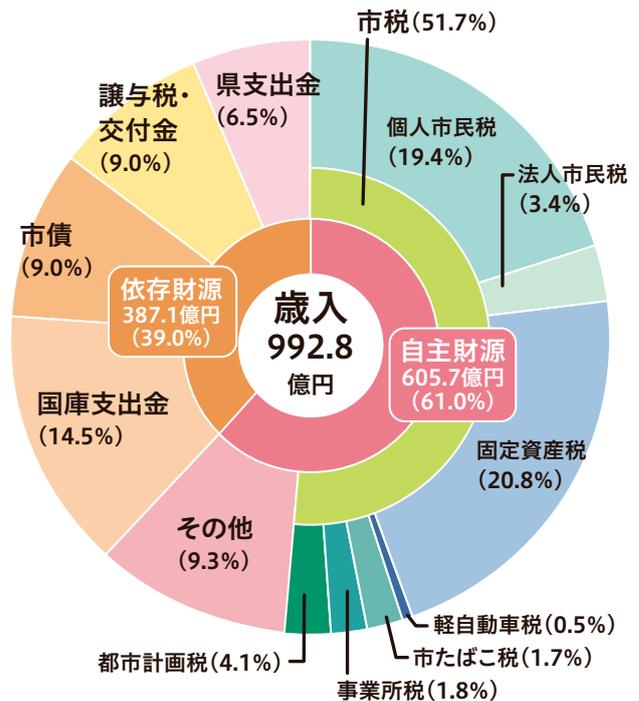
「暮らしやすさと幸せをつなぐまち かすがい」の実現に向け、子育て支援をはじめとする福祉、健康増進、産業振興、都市基盤整備などこれまで取り組んできた各施策をさらにワンステップ高めるとともに、将来を見据えた未来への投資を行う積極的な予算を編成しました。

一般会計歳入

障がい者福祉サービス費の増加、保育サービスの拡充などに伴い、国・県支出金が増加しました。また、公共施設の大規模改修の増加や、ふれあい農業公園の整備に着手することなどにより、市債が増加しました。その他、公共施設の改修や公債費などに充てるため、基金からの繰入金が増加しました。



「その他」には、保育所保育料や土地売払収入、ふるさと寄附金、財政調整基金繰入金などが含まれているよ。



	平成30年度	前年度比
市税	513億2400万円	1400万円
国庫支出金	144億4006万円	7億8089万円
市債	89億2480万円	8億810万円
譲与税・交付金	88億6500万円	2億6900万円
県支出金	64億8040万円	3億1445万円
その他	92億4575万円	4億9356万円

自主財源:市が自主的に収入できる財源

依存財源:国や県などの基準によって、交付されたり割り当てられたりする財源

特別会計

特定の目的・人を対象に実施する事業について、目的に沿った収支を明確にするため一般会計とは別に経理するものです。

事業名称	平成30年度	前年度比
公共用地先行取得事業	2億3443万円	△1166万円
国民健康保険事業	272億1279万円	△83億3147万円
後期高齢者医療事業	46億1182万円	△7928万円
介護保険事業	214億4446万円	24億6209万円
介護サービス事業	1億642万円	490万円
民家防音事業	3052万円	△214万円
大泉寺地区企業用地整備事業	4億7653万円	△14億9853万円
潮見坂平和公園事業	1億4892万円	△851万円

企業会計

使用料などの収入で経費を賄う事業について、民間企業に類する方法により経理するものです。

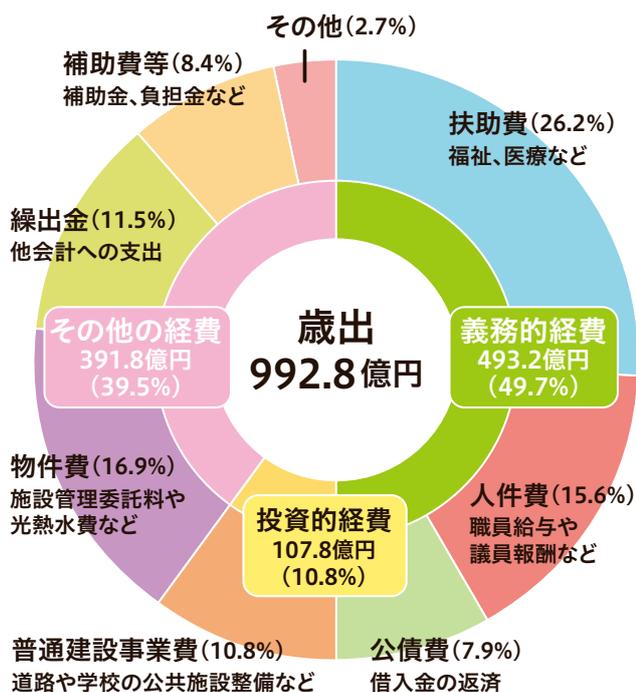
事業名称	平成30年度	前年度比
市民病院事業	186億2441万円	2億4722万円
水道事業	67億1720万円	△4億8911万円
公共下水道事業	181億8888万円	22億8025万円

check

松河戸土地区画整理事業特別会計は、事業完了に伴い平成29年度で廃止しました。

一般会計歳出

扶助費は、新園の開設や保育士処遇改善などによる私立保育園等運営費の増加や、就労支援に関する給付費の増額などによる障がい者福祉サービス費の増加などを見込んでいます。普通建設事業費は、ふれあい農業公園や朝宮公園の整備、衛生プラントや市民会館の大規模改修などにより増加しました。補助費等は、工場新增設に対する助成金が大きく増加しました。



「その他」には、施設の維持補修費や基金積立金、貸付金などが含まれているよ。



道風くん

	平成30年度	前年度比
扶助費	260億3792万円	9億6436万円
人件費	154億9095万円	1億5310万円
公債費	77億8984万円	△6096万円
普通建設事業費	107億7726万円	7億2016万円
物件費	167億4173万円	4億8587万円
繰出金	114億1806万円	△1億3927万円
補助費等	82億9171万円	10億7776万円
その他	27億3253万円	△5億2100万円

義務的経費：支出が義務付けられ、任意に削減できない経費
 投資的経費：公共施設の整備などに要する経費

今年度の補助金などの受け付けが始まります

条件や予算枠があります。また、原則設置・購入前の申し込みが必要ですので、必ず事前に説明を受けてください。 ※指定のないものは4月2日(月)から受け付け

耐震

問 いずれも市民安全課(☎85-6072)

木造住宅無料耐震診断

- 対** 現在居住していて、昭和56年5月31日以前に着工された在来軸組構法、伝統構法の住宅



耐震シェルター整備費補助

- 対** 市の木造住宅無料耐震診断で倒壊する可能性がある(判定値1.0未満)と診断された住宅
- 額** 20万円を限度に、耐震シェルターの購入、運搬、整備費などの2分の1の額

木造住宅耐震改修費補助

- 対** 市の木造住宅無料耐震診断で倒壊する可能性がある(判定値1.0未満)と診断された住宅
- 額** 100万円を限度に、耐震改修工事費に80%を乗じて得た額

非木造住宅耐震診断・耐震改修費補助

- 対** 昭和56年5月31日以前に着工された非木造住宅(一戸建て、長屋、共同住宅、併用住宅)
- 額** 助成額と市の定める限度額のいずれか少ない額

木造住宅段階的耐震改修費補助

- 対** 市の木造住宅無料耐震診断で倒壊する可能性がある(判定値1.0未満)と診断された住宅
- 額** 一段目は60万円、二段目は40万円を限度に、耐震改修工事費に80%を乗じて得た額

コミュニティ集会施設耐震診断費補助

- 対** 昭和56年5月31日以前に着工され、広く地域住民が使用可能な施設(ただし、耐震改修工事を行っていないこと)
- 額** 木造5万円、木造以外120万円を限度に、耐震診断に要する費用の2分の1の額

木造住宅除却費補助 新設

- 対** 市の木造住宅無料耐震診断で倒壊する可能性がある(判定値1.0未満)と前年度までに診断された住宅
- 額** 20万円を限度に、解体、運搬、処分費に23%を乗じて得た額

防犯

地域防犯組織支援事業補助

- 対** 区、町内会、自治会、地域内のボランティア団体、PTA、老人クラブその他の団体(週に1回以上防犯パトロールを実施できること)が防犯パトロール用品(ジャンパー、帽子など)を購入する費用
- 額** 世帯数に応じ、5万円~25万円を上限 ※1団体1回限り

防災

備蓄食糧の購入費などの補助

- 対** 独自の地域防災マニュアルを作成し、これに基づいた防災体制などが整備され、防災訓練を計画・実施している区、町内会、自治会、自治消防団、自主防災組織などの①地域防災マニュアルに記載のある備蓄食糧、保存水、毛布、簡易トイレ、給水用ポリ容器の購入費②地域防災マニュアルの印刷製本費
- 額** 費用の2分の1(1000円未満切り捨て)で5万円を上限 ※1団体につき、3年度内1回限り
- 申** 11月30日(金)までに、直接、市民安全課(☎85-6072)へ

防犯カメラ設置費補助

- 対** 区、町内会、自治会が設置する防犯カメラの費用(本体、設置工事、調整、看板、申請書の添付書類の資料作成) ※維持や管理に要する費用、地代および占用料、操作指導料、ダミーカメラは不可
- 額** 設置費用の2分の1(1000円未満の端数切り捨て)で、交付を受けた年度以降3年度以内で、50万円を上限
- 申** いずれも5月1日(火)~11月30日(金)に、直接、市民安全課(☎85-6064)へ



合併処理浄化槽の設置費補助

対 公共下水道事業計画区域外の専用住宅に合併処理浄化槽を設置する人

額	新設	単独・くみ取り転換	
		重点区域	その他の区域
5人槽	8万円	56万円	43万円
7人槽	11万円	79万円	62万円
10人槽	14万円	101万円	81万円

※ 金額は上限。単独からの転換時、単独処理浄化槽の撤去費(最大9万円)を加算。事業計画区域の一部に関しても補助金が交付される場合あり

申 環境保全課(☎85-6217)へ

ごみボックス購入費補助

対 区・町内会などがごみステーションに設置するごみボックスの購入費、作製する場合の材料費

額 購入金額の2分の1(100円未満切り捨て)で、5000円を上限(原則1か所につき2台まで)

※ 清掃事業所との事前協議が必要

申 清掃事業所(☎84-3211)へ

地球温暖化対策機器設置費補助

対 市内の住宅(店舗などの併用住宅および集合住宅を含む)に、次の地球温暖化対策機器を設置する人か、対象システム付き住宅を購入する人

額 ○太陽光発電システム…1kW当たり1万円(上限4kW、全量買い取りは対象外)○燃料電池システム…1台当たり5万円○家庭用エネルギー管理システム(HEMS)…1台当たり1万円○定置用リチウムイオン蓄電システム…1台当たり5万円

申 環境政策課(☎85-6216)へ

生ごみ処理機購入費補助

対 電動式か手動式の家庭用生ごみ処理機を購入する市内在住の人(1世帯につき1台) ※生ごみ堆肥化容器(コンポスト)、密閉バケツ、脱水機、デイスパーザーは対象外

額 購入金額の2分の1(100円未満切り捨て)で2万円を上限 ※配達代金、付属品(基材など)は対象外

申 ごみ減量推進課(☎85-6222)へ

人工授精治療費等助成

対 人工授精に係る保険診療適用外の治療費

額 5万円を限度に、1年度当たり自己負担額の2分の1

申 子ども政策課(☎85-6170)へ

子ども会活動費補助

対 「地域子ども会育成基準」を満たす地域子ども会

申 5月31日(木)〈必着〉までに、子ども政策課(☎85-6151)へ

障がい者の居場所・交流の場づくり事業助成

対 市内の障がい者が、気軽に集まり交流できる場を継続的に提供する団体

額 1団体当たり年額10万円を上限

申 5月31日(木)までに、障がい福祉課(☎85-6186)へ

飼い主のいない猫の去勢避妊費補助

対 市内に生息する飼い主のいない猫を保護して、手術を受けさせることができる市内在住の人

額 オス(去勢1頭)6500円、メス(避妊1頭)1万1500円

申 環境保全課(☎85-6279)へ



1 住民主体サービス補助

対 訪問による生活援助や高齢者サロン、ミニデイサービスを新たに実施する団体

2 認知症カフェ開設補助

対 認知症の人や家族、地域住民が気軽に集う認知症カフェを開設する団体か個人

定 10か所 **額** 1か所当たり5万円を上限

3 家族介護者支援センター運営補助

対 認知症の人や家族への介護相談、関係機関との連携や認知症カフェの運営の支援などを行う団体

定 2団体 **額** 1団体当たり月額5万円を上限

申 ①②は随時、③は4月13日(金)までに、地域包括ケア推進室(☎85-6187)へ

老朽空き家解体費補助金

対 市内の建築後22年以上の木造空き家を解体する人

額 20万円を限度に、解体費の3分の2

空き家解体ローンの利子補給事業

対 市が指定する金融機関の空き家解体ローンを利用し、市内の空き家を解体する人

額 6万円を限度に、年利1%の利子相当額

空き家見回り事業利用補助金

対 市が指定する空き家見回り事業を利用する人

額 1回500円

申 いずれも環境保全課(☎85-6572)へ

東部丘陵の豊かな自然の中、「緑と花」がテーマのフェスティバル



緑と花のフェスティバル

緑と花のフェスティバル

4月29日(祝)～5月5日(祝)
午前10時～午後4時

スタンプラリーも開催

植物園会場 (グリーンピア春日井) ☎92-8711

4月29日(祝)～5月5日(祝)
ハンギングバスケット&コンテナ
作品展

5月3日(祝)
午前11時から、午後1時から
天野麻里絵(NHK趣味の園芸講師)のガーデニング教室

4月30日(休)
午前11時から、午後1時から
Jazz Train Sax Quartet
コンサート

5月3日(祝)～5日(祝)
草木染体験、こども広場(ふれあいミニ動物園、ポニーに乗ろうなど)、寄せ植え教室と園芸用品の販売など

その他にも、グリーンピアコンサート、フードコート、野点茶会などイベント盛りだくさん



自然の家会場 ☎92-8211

① アウトドアdeピザ&スモーク

時 ①4月29日(祝)②4月30日(休)午前9時～午後2時
内 自然の宝探しゲームとダッチオーブンでピザ作りなどアウトドアを家族や仲間と楽しむ
対 家族・グループ(小学生以下は保護者同伴)
定 各75人(抽選) **費** 1人800円

② みろくとあそぼう!

時 5月5日(祝)午前9時～午後2時
内 キャンプカウンセラーサークルみろくと一緒にレクリエーションや炊事を楽しむ
対 小中学生 **定** 60人(抽選)
費 1人500円

申 いずれも4月15日(日)〈必着〉までに、往復はがきに催し名、参加者全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・性別、電話番号、①は①②の別も書いて、〒487-0031廻間町1102-1へ ※インターネット(<https://www.spofure-kasugai.or.jp/natures/>)でも申し込み可

その他にも、くるくるパン&自然体験コーナー、ツリークライミング体験などがあります



ウォーク大会

新緑の中を歩き、東部丘陵の豊かな自然に触れませんか。

公園緑地課(☎85-6281)

時 4月29日(祝)午前10時から(雨天中止) ※午前9時から受け付け
集合 芝生広場 ※駐車場に限りがあるので、公共交通機関が乗り合わせで来てください。
コース 築水の森・みろくの森散策路○健脚コース5.3km○標準コース3.6km ※山歩きができる服装・靴で参加してください。

※当日の開催案内は、午前7時30分以降 ☎0180-99-5111(一部携帯電話・PHSからは利用不可)



詳しい日程や内容は、市ホームページを見てください。写生コンクール、給食レストランは4月15日号でお知らせします。



国民健康保険制度が変わります

(保険医療年金課 ☎ 85 - 6156)

国民皆保険を将来にわたって守り続けるため、平成30年4月から国民健康保険制度が変わります。

■県も制度を担います

市とともに、県も国民健康保険制度を担うことになりました。

県の主な役割

- 事務の広域化、標準化を推進
- 県全体の医療費の財源とするための納付金を決定し、市より徴収
- 保険給付に必要な費用を市へ交付

市の主な役割

- 被保険者の資格を管理（各種届出の受け付け、保険証などの発行）
- 保険税を決定、賦課、徴収
- 納付金を県に納付
- 保険給付の決定、支給



※保険税の納付先や保険給付の申請、各種届出の窓口は、これまで通り市になります。

■国民健康保険税の税率を改定します

新しい制度の下で、被保険者の適正な費用負担や国民健康保険事業の健全な財政運営を図るため、国民健康保険税の税率を次のとおり改定します。

	所得割	資産割	均等割 (1人当たり)	平均割 (世帯当たり)	課税限度額
基礎課税分 (医療保険分)	5.1%	15%	2万4500円	2万2000円	54万円
後期高齢者支援分	1.8%	5%	9900円	9000円	19万円
介護保険2号分	1.1%	5%	9700円	7000円	16万円

※平成30年度国民健康保険税納税通知書は6月上旬に郵送します。



介護サービスの充実と質の向上を目指して

(介護・高齢福祉課 ☎ 85 - 6182)

介護サービスの充実と質の向上のため、4月からさまざまなサービスや取り組みを行います。

訪問型の緩和した基準による サービスが始まります

介護予防・日常生活支援総合事業に生活援助を中心とする訪問型の「緩和した基準のサービス」が追加されます。

- ☑ ホームヘルパーが自宅を訪問し、掃除、洗濯、調理、買い物支援などの日常生活支援を行う
- ☑ 身体介護を要しない、生活援助が必要な要支援1・2または事業対象者の人



指定居宅介護支援事業者の指定・ 指導監督を実施します

高齢者の自立支援に資するケアマネジメント(居宅介護支援)の役割を担っている指定居宅介護支援事業者の指定や指導監督を市が行います。





「かすがい健康マイレージアプリ」ができました

(健康増進課 ☎ 85 - 6166)

自分で健康づくりの目標を立て、達成できたらアプリに記録。記録してポイントがたまると、協力店で利用可能な優待カードを申請できます。あなたのスマートフォンにダウンロードしませんか。

市マスコットキャラクター「道風くん」に加え、4月から多治見市マスコットキャラクター「うながっぱ」が使えるようになるアプリ内のイベントが始まります。



道風くん

うながっぱ



市公式アプリ「春ポケ」からダウンロードできます



予防接種を受けましょう

(健康増進課 ☎ 85 - 6168)

予防接種を受け、病気の発症や重症化の予防に努めましょう。

◆おたふくかぜワクチン接種費用の一部補助を4月1日より開始します

おたふくかぜを発症すると、合併症の無菌性髄膜炎を引き起こしやすくなる他、脳炎や脳症などを併発し、難聴などの後遺症を残す場合があります。

対 次の全てに該当する子ども

○1～6歳で小学校就学前○おたふくかぜにかかったことがない○市のおたふくかぜワクチン接種費用の補助を受けたことがない

接種回数：1回 補助額：上限3000円(生活保護受給者は6000円)

※詳しくは、問い合わせてください。



◆高齢者肺炎球菌ワクチン

定期予防接種

接種期間：4月1日～平成31年3月31日

対 ①次の生年月日に該当する人

○昭和28年4月2日～29年4月1日生まれ○昭和23年4月2日～24年4月1日生まれ○昭和18年4月2日～19年4月1日生まれ○昭和13年4月2日～14年4月1日生まれ○昭和8年4月2日～9年4月1日生まれ○昭和3年4月2日～4年4月1日生まれ○大正12年4月2日～13年4月1日生まれ○大正7年4月2日～8年4月1日生まれ

②60～65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に身体障がい者手帳1級程度の障がいがある人

接種回数：1回(肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)を接種済みの人は対象外)

費 自己負担額2400円(生活保護受給者は自己負担なし)

持 ①本人確認書類、案内はがき、生活保護受給者は生活保護受給証明書、②①に加え身体障がい者手帳(②の人で接種を希望する場合は、案内はがきを交付しますので事前に連絡してください。)

補助事業

対 ①65歳以上の人②60～65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に身体障がい者手帳1級程度の障がいがある人(いずれも過去に肺炎球菌ワクチン(プレベナーを含む)を接種済みの人は対象外)

接種回数：1回 補助額：上限3000円(生活保護受給者は7500円)

持 ①印鑑、本人確認書類、生活保護受給者は生活保護受給証明書、②①に加え身体障がい者手帳

※対象者へのはがきは、4月上旬に発送予定です。市外の医療機関などで接種を希望する場合は、事前に連絡してください。

お知らせ



精神障がい者医療費助成制度が変わります 保険医療年金課(☎85-6194)

4月から精神障がい者医療費助成制度を次のとおり改定します。

	改定前	改定後
助成対象者	精神障がい者保健福祉手帳1、2級所持者	精神障がい者保健福祉手帳1、2級所持者で次のいずれかに該当する人 ○自立支援医療(精神通院)受給者○精神病床に入院中の人など
助成範囲	入院：全額 通院：2分の1	入通院とも全額
助成方法	医療機関受診後に市へ返金の申請が必要です	(平成30年9月30日まで)従来通り (平成30年10月1日以降)受給者証の交付を予定しています

※ 医療保険適用後の自己負担額が全額助成になるのは、4月以降の受診分になります。

未成年は飲まない。絶対に。 健康増進課(☎85-6172)

4月は未成年者飲酒防止強調月間です。周囲の大人は未成年者に飲酒を勧めることなく、飲酒が心身に与える悪影響を伝えましょう。

未成年者が飲酒してはいけない5つの理由

- 脳の機能を低下させる恐れがあります
- 肝臓をはじめとする臓器に障がいを起こしやすくなります
- 性ホルモンに異常が起きる恐れがあります
- アルコール依存症になりやすくなります
- 未成年者の飲酒を禁じる法律があります



就学援助制度 学校教育課(☎85-6442)

経済的な理由で、小中学校への就学が困難な家庭を支援するための制度です。認定されると給食費や学用品費などの援助が受けられます。

■ 1学期始業式以降、在学の小中学校へ



市水道事業経営戦略を策定しました (上下水道経営課 ☎ 85 - 6407)

市水道事業では、2018年度から2027年度を計画期間とする経営戦略を策定しました。

市水道事業は、昭和32年に給水を開始して以来、市内全域に安全で安心な水の供給に努めてきました。

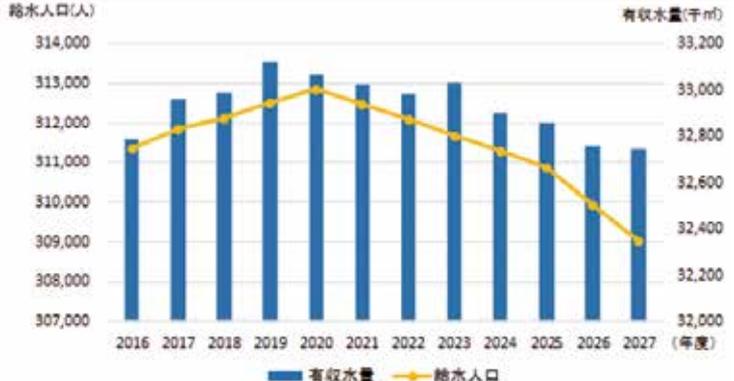
今後は、人口減少などによる水需要の減少や老朽化施設などの更新が見込まれるため、経営状況や将来環境を分析した上で、事業の効率化、施設管理の見直しなどの経営改善に取り組み、経営基盤の強化を図っていきます。



基本理念と取り組み



給水人口と有収水量の推計



この経営戦略は、市役所情報コーナーや市ホームページで閲覧できます。

第2次かすがい市民文化振興プランを策定 文化・生涯学習課(☎85-6079)

文化振興施策を総合的、計画的に推進するための指針として平成20年に策定した「かすがい市民文化振興プラン」の計画期間の終了に伴い、社会状況の変化などを踏まえ、新たな計画として「第2次かすがい市民文化振興プラン」を策定しました。

本プランは、文化・生涯学習課、市ホームページ、市の主な公共施設で見ることができます。

第2次春日井市生涯学習推進計画を策定 文化・生涯学習課(☎85-6447)

生涯学習施策を総合的、計画的に推進するための指針として平成19年に策定した「春日井市生涯学習推進計画」の計画期間の終了に伴い、社会状況の変化などを踏まえ、新たな計画として「第2次春日井市生涯学習推進計画」を策定しました。

本計画は、文化・生涯学習課、市ホームページ、市の主な公共施設で見ることができます。

新かすがい男女共同参画プランを改定 男女共同参画課(☎85-4401)

男女共同参画社会基本法および市男女共同参画推進条例に基づき平成24年に「新かすがい男女共同参画プラン2012-2021」



を策定し、男女共同参画社会の実現に向け各種施策を積極的に推進してきました。社会情勢の変化などに対応し、より効果的な施策を展開していくため、プランを改定しました。

本計画は、男女共同参画課、市ホームページ、市の主な公共施設で見ることができます。

共生型サービスが始まります

介護・高齢福祉課(☎85-6182)、障がい福祉課(☎85-6213)

4月1日から、障がい福祉サービスの利用者が65歳になっても同じ事業所でサービスが利用できるようになる、地域共生社会の実現に向けた取り組みとして「共生型サービス」が始まります。

男女共同参画情報紙「はるか」を発行 男女共同参画課(☎85-4401)

配布場所：男女共同参画課、市の主な施設 ※市ホームページからも見ることができます。

4月2日は世界自閉症啓発デー 障がい福祉課(☎85-6186)

「世界自閉症啓発デー」に合わせ、国内では4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」としてしています。発達障がいのある人は、脳機能の発達の仕方の違いから、コミュニケーションが苦手であり、周りから理解されにくいことがあります。発達障がいについての理解を深め、共に暮らしやすい社会を築きましょう。

4月6日～15日は春の交通安全運動 市民安全課(☎85-6053)

重点実施項目

○歩行中の子ども・高齢者と高齢ドライバーの交通事故を防止しよう
○歩行中・自転車乗用中の交通事故をなくそう
○後部座席を含めた全ての座席でシートベルト・チャイルドシートを正しく着用しよう
○飲酒・ながら運転を根絶しよう



会議の公開

◆教育委員会定例会の公開

教育総務課(☎85-6436)

時 4月18日(水)午後1時30分から

場 市役所教育委員会室 定 10人(先着順)

申 当日午後1時から、教育総務課へ

◆健康施策等推進協議会の公開

健康増進課(☎85-6167)

時 4月26日(木)午後2時から

場 総合保健医療センター 定 10人(先着順)

申 4月4日(水)から、電話で

ごみの出し方についてのお願い ごみ減量推進課(☎85-6222)

市内では、ごみ収集の際に収集車から出火する危険な事故が度々発生しています。スプレー缶やライターなどが適切にごみ出しされていないことが原因と思われます。ルールを守り、適切にごみ出しに協力してください。

正しいごみの出し方

○スプレー缶やカセットボンベは、必ず使い切ってから、風通しの良い屋外で穴を開け金属類として出してください
○使い捨てライターは、必ず使い切った状態で金属類として出してください

※ 処理が難しい場合は、販売店へ引き取りを依頼するか、クリーンセンター(☎88-0247)へ連絡の上、直接搬入してください。

日常生活用具の給付種目が拡大されます 障がい福祉課(☎85-6186)

視覚障がいのある人に大活字図書、DAISY図書(デジタル録音図書)を給付します。事前に申請が必要で、所得に応じて利用者負担があります。

催し



葛西聖司の「極付！歌舞伎セミナー」 かすがい市民文化財団(☎85-6868)

時 6月29日(金)午後1時30分から
※出演者の都合により、当初の時間が変更になりました。

場 市民会館

内 7月の松竹大歌舞伎を前に、出演俳優や演目の見どころを元NHKアナウンサーの葛西聖司が分かりやすく解説する

入場料:500円(松竹大歌舞伎チケット購入の人は、チケット提示で入場無料)

入場券:4月21日(土)から、文化フォーラム春日井、東部市民センターで販売



こどもの読書週間 図書館(☎85-6800)

本の福袋

時 4月28日(土)～5月6日(日)

内 中身は借りてから分かる。楽しい「本の福袋」の貸し出し ※数量限定

あさひ文庫の読み聞かせ駅伝

時 4月28日(土)午前10時～午後3時
ブラックパネルシアターとおはなし会

時 4月29日(祝)午前11時～正午

腹話術と楽しい手品

時 4月29日(祝)午後2時～2時30分

イソップと紙しばい

時 4月30日(休)午後1時～3時

録音・点字図書作成、対面読書体験

時 5月3日(祝)午前11時～午後3時

図書館探検

時 5月5日(祝)午前10時～10時30分、午後2時～2時30分

定 各10人(先着順、親子での参加も可) ※3階「おはなしのへや」前に集合

クイズに挑戦

時 5月6日(日)午後1時～4時

松竹大歌舞伎

かすがい市民文化財団(☎85-6868)

次代の歌舞伎界を担う清新な魅力あふれる花形俳優“尾上菊之助”が登場します。

時 7月16日(祝)昼の部…正午から、夕方の部…午後4時30分から

場 市民会館

出演:尾上菊之助、市川団蔵ほか

演目:曾我綉侠御所染など ※昼の部、夕方の部とも同じ演目

入場料:昼の部…S席7500円、A席5500円、B席3500円、夕方の部…S席7000円、A席5000円、B席3000円(全席指定、未就学児入場不可)

先行予約:4月18日(水)午前10時～20日(金)午後5時に、ホームページ(<http://www.kasugai-bunka.jp>)へ

入場券:4月21日(土)から、文化フォーラム春日井、東部市民センター、チケットぴあ、チケットweb松竹で販売

その他



中央新幹線(品川・名古屋間)大深度地下使用に関する説明会 JR東海中央新幹線愛知工事事務所(☎052-756-2221)

時 5月11日(金)・18日(金)午後6時30分から

場 市民会館 **定** 1000人(先着順)

申 当日、会場で

※詳しくは、JR東海ホームページ(<http://jr-central.co.jp/>)をご覧ください。

都市計画に関する公聴会の開催 県都市計画課(☎052-954-6515)

都市計画の名称：尾張都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

時 5月20日(日)午後2時から ※公述申立てがない場合は中止

場 一宮市役所(一宮市)

申 当日、会場で ※会場の収容人数を超える場合は、入場制限あり

原案の閲覧

時 4月10日(火)～24日(火)〈土・日曜日を除く〉

場 県都市計画課か都市政策課 ※県都市計画課ホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toshi/>)でも公開しています。

公述申立て

公聴会で公述を希望する人は、閲覧期間内(必着)に、公述申立書を〒460-8501愛知県建設部都市計画課へ



写真で見る かすがい

2/24
(土)

近未来の体験 自動運転デマンド交通実証実験 (押沢台地区)

自宅とセンター地区を自動運転車両で往復する今回の実証実験。乗車の際にタブレットを操作して行き先を設定すると、目的地に連れて行ってくれる想定で実施しました。センター地区で買い物など自由な時間を過ごし、普段の生活

に即した実験ができました。

モニターの皆さんは自動運転のスムーズさやスピードなどに感心しており、今後の実用化を期待する声も上がりました。



2/28
(水)

高校生の頑張りが 市の福祉に貢献 (市役所)

春日井商業高等学校の「HAL-SHOP」が、社会福祉の向上に役立てるため、収益金を市に寄付してくれました。

「HAL-SHOP」は平成15年から「課題研究」という授業の一環として、生徒が店舗を運営しています。今年度も春日井まつりなどで、パンや生徒が開発した商品を販売しました。寄付に訪れた生徒は「とても貴重な経験になりました」と話していました。



2/28
(水)

世界へ羽ばたく 春日井の若い力 (市役所)

東部中学校在学中の横山栞子さんが、ゴルフ競技において韓国で開催される「日韓対抗中学・高校生ゴルフ選手権」に日本代表として、滋賀県で開催される「全国中学校ゴルフ選手権春季大会」に選抜選手として出場することが決まり、報告に来てくれました。

横山さんは2月26日に三重県で開催された「伊勢の国オープンサーキット『トウホウカップ』」に出場し、多くの男女プロアマが参戦する中、見事優勝するなど実力は十分。「強みであるドライバーを生かして優勝したい」と力強く話してくれました。



3/6
(火)輝く未来へ
(市立中学校)

市内の市立中学校15校で行われた卒業式。2852人が思い出がたくさん詰まった学びやから巣立ちました。

卒業証書授与から始まり、答辞では卒業生代表が先生や親への感謝の気持ちを伝え、合唱ではこれまでの学校生活を思い出したのか、涙ぐむ生徒の姿も。会場は温かい雰囲気にも包まれました。

3/6
(火)ニュースポーツで
元気に生き生きと
(総合体育館)

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、市老人クラブ連合会が主催する高齢者ニュースポーツ講習会が行われました。

今回は話題のカーリングを床の上で行う「カローリング」や、スポーツ輪投げの「クロリティー」など4種目を体験。チームに分かれて対戦も行われ、カローリングでは、ジェットローラーが標的に入るとチームメイトみんなで喜び、ガッツポーズする場面も。「真っすぐ投げるのは難しいけど、楽しい」と皆さん笑顔でした。



「暮らしやすさ」への道

平成30年度が始まりました。

「子はかすがい、子育ては春日井」宣言や「文化・スポーツ都市」宣言を行い、子どもから高齢者まで、すべての世代が心の豊かさやあたたかさを感じることができるまちをめざして多くの施策を進めてきました。

昨年12月、日本経済新聞に保育料など約30項目の調査の結果「共働き子育てしやすい街ランキング」(東京都を除く全国148市区)が掲載され、春日井市は10位でした。これは市の施策だけでなく、NPO団体や市民の皆さんの取り組みが評価されたものと思っております。

春日井市は今年、市制75周年を迎えます。そして高蔵寺町、坂下町と合併して60年、高蔵寺ニュータウンの入居開始から50年という節目の年でもあります。

今年の思いを「破」という文字で書かせていただきました。現状に甘んじることなく、さらに一歩先を行く「暮らしやすさ」の実現をめざしていきたいと思っております。

創 春日井
2018 想

市長 伊藤 太

ゲンバ男子

「ゲンバ男子」は、中小企業の現場で活躍している若手技術者を広く紹介することで、製造業のイメージアップを図り、若い年代に対して技術者として働くことへの関心を高めてもらうことを目的としています。

市ホームページでは、現在 72 人を紹介しています。

ゲンバ男子 春日井市 検索



(株)マサシックス

中西 英司さん(33歳)

自動車などを製造する精密治工具や金型関係の部品をニーズに合わせ最新機器と職人技で加工する(株)マサシックス。中西さんは平面研削を担当している。元々、派遣社員として働いていた中西さんだったが、上司の人柄や職場の雰囲気が気に入り正社員として入社を決意。勤続5年目となる今では、1000分の1mm単位で削っていく仕上げの重要なポジションを任されている。交差している部品やアルミなど、材料によっては思い通りにいかず、苦戦することもあるというが、仕事が早い先輩を目標に日々技術を磨いている。休日の楽しみはサイクリングと漫画を読むこと。

(株)共栄金属工芸社

野村 信生さん(29歳)

産業用機械や電気機器部品の板金加工、制御盤の設計製作など金属全般の加工に幅広く対応する(株)共栄金属工芸社。制御盤の溶接と工作機械のオペレーターを行っている野村さん。ものづくりが好きで、機械操作以外にも溶接や曲げ加工などさまざまなことに挑戦できることが面白く、やりがいと語る。トン単位の材料の手配など間違いが許されず、大変なこともあるが、今後は全ての作業ができるようになりたいと意欲的だ。休日は子どもと遊んだり、好きなドライブで彦根まで行ったりと楽しんでいる。



春日井サボテンサミット~春日井サボテン next10

キックオフイベントが開催されました

問い合わせ 春日井商工会議所 (☎ 81 - 4141)



市のサボテン産業の取り組みを全国へ発信し、交流人口を増やすため開催された「春日井サボテンサミット」。1日目のシンポジウムには133人、2日目の見学ツアーには28人が参加しました。

1日目



名城大学・小原教授や中部大学・堀部助教によるサボテンについての講演、パネルディスカッションなどが行われました。



2日目



(有)後藤サボテンで栽培されているサボテンを見たり、わしよく屋で「ねぎま」ならぬ「サボマ」などのサボテン料理に舌鼓を打ったりと、サボテンを堪能しました。



休日・平日夜間急病診療所

場所	総合保健医療センター(鷹来町1) ☎84-3060
----	---------------------------

診療科目	診療時間		
	平日夜間	土曜日	日・祝休日
内科・小児科	21:00～23:30	18:00～21:00	9:00～12:00、 13:00～17:00、 18:00～21:00
外科	—	—	18:00～21:00
歯科	—	—	9:00～12:00

受け付けは、いずれも診療開始30分前から終了30分前まで

- 保険証、受給者証、現金などが必要です。
- 薬は原則1日分しか出ませんので、翌日以降にかかりつけ医か専門医を受診してください。
- 夜間の子どもの急病時、受診を迷った場合は、県小児救急電話相談(毎日19:00～翌8:00、☎#8000(短縮番号)か052-962-9900)へ
- かかりつけ医や休日・平日夜間急病診療所などで受診できない場合や受診先が分からない場合は、県救急医療情報センター(☎81-1133)へ

日曜日・平日時間外の市役所業務

業務を行っている課	業務内容	月日	時間
市民課 ☎85-6136	戸籍届、住民異動届、印鑑登録、住民票などの証明書の発行	4/1、8、 22	8:30～12:00、 13:00～17:00
市民税課 ☎85-6093	所得、課税、非課税、扶養、事業所の各証明書の発行		
保険医療年金課 ☎85-6156	国民健康保険加入・喪失の届け出	4/29	9:00～12:00、 13:00～16:00
収納課 ☎85-6111	納税相談・納付		

毎週水曜日(祝休日、年末年始を除く)は、収納課19:00まで、市民課19:30まで上記の業務を行っています。取り扱い業務など詳しくは問い合わせてください。

市税等の納期限

・固定資産税・都市計画税第1期

納期限▶5月1日(火)

最寄りの金融機関やコンビニエンスストア、インターネットの「Yahoo! 公金支払い」で納付してください。

火災情報 ☎0180-995-999

まちの動き

人口	31万1657人	(+126)
世帯数	13万4516世帯	(+1330)
平成30年3月1日現在()内は前年同月比		
救急件数	1154件	(2551件)
火災発生件数	14件	(19件)
交通事故死亡者数	0人	(1人)
平成30年2月()内は1月からの累計		

水道修繕

公道

平日 8:30～17:15

水道工務課 ☎85-6420

土・日曜日、祝休日、夜間

市役所守衛室 ☎81-5111

宅地内(有料)

管工事業協同組合(☎83-8288)
か市指定給水装置工事業者
※アパート、マンションなどは、事前に管理者へ

市の南西部に位置し、庄内川沿いで、JR中央本線と南部浄化センターの間に愛知町があります。昭和五十五年に区画整理で松河戸町の一部が独立して愛知町になりました。

町名の由来は、愛知電機(株)という企業です。企業名の一部をとって町名にしました。この企業は電機メーカーで、変圧器や電力制御機器、太陽光発電システムなどを製造しています。創業は戦時中の昭和十七年。昭和三十五年に春日井市に工場を集結し、本社も春日井市に移転してきました。

町内は愛知電機(株)の関連企業が集まった地域となっており、住民は同企業の従業員と家族がほとんどで、七十世帯ほどとなっています。

愛知(あいち)

春日井郷土史研究会 富中

春日井の地名物語

